

	<p>日本プライマリ・ケア連合学会 北海道ブロック支部</p> 	<p>発行人:支部長 木村 眞司 北海道ブロック支部事務局 (市立美唄病院内) TEL:0126-63-4171 e-mail:hpca.jimukyoku@gmail.com</p>
-----------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------

文責 北海道ブロック副支部長 小嶋 一 (手稲家庭医療クリニック)

kojimah@gmail.com

【お詫び】2018年9月号のニュースレターは原稿が間に合わず発行されませんでした。大変申し訳ありませんでした。本日のニュースレターは2018年7月以降の活動についておしらせします。

<報告①第6回北海道地方会>

2018年7月7日、かでの2・7で開催されました。参加者総数184名でした。多くの皆様のご参加ありがとうございました。基調シンポジウムでは時間配分がうまくいかず、討論の時間が取れないと言う不手際がありました。この場を借りてお詫び申し上げます。

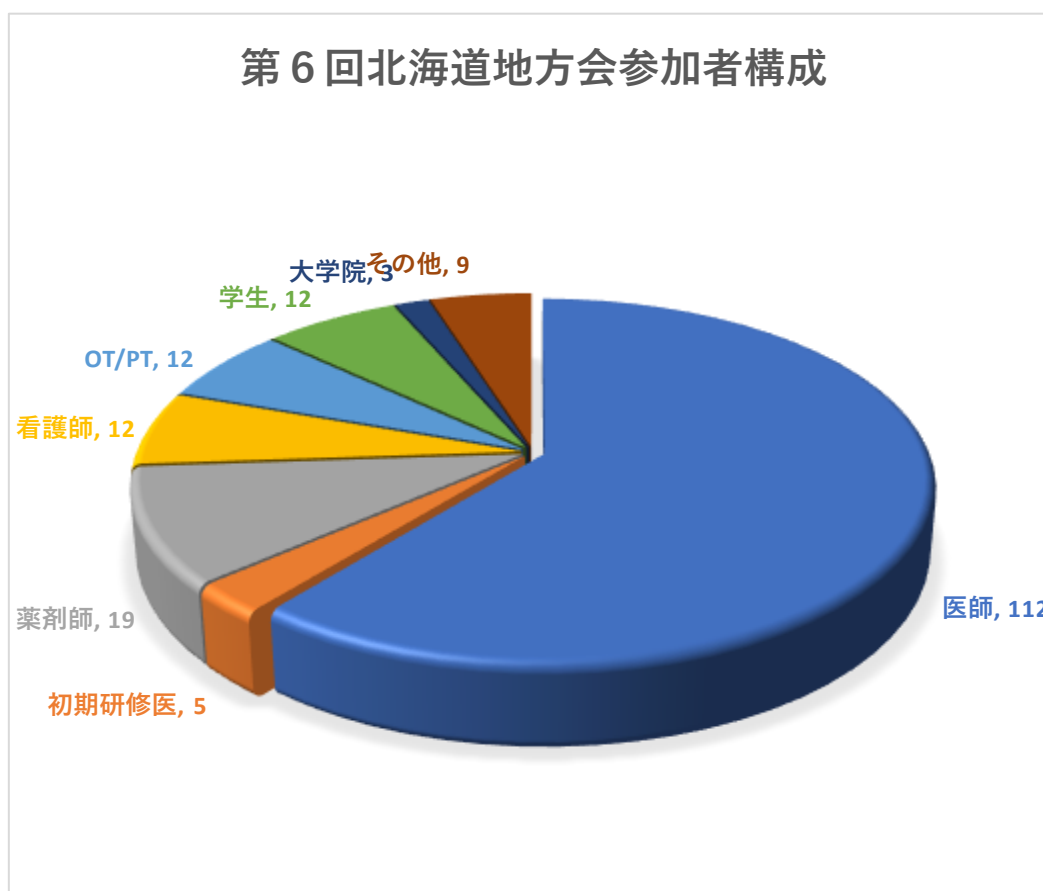
参加者のアンケートを添付します。

<http://jpca-hokkaido.jp/chihokai2018>

第6回北海道地方会参加者集計及びアンケート調査結果

I 参加者集計（職種別参加者数）

参加者総数 184人 職種別参加者は次のとおり。



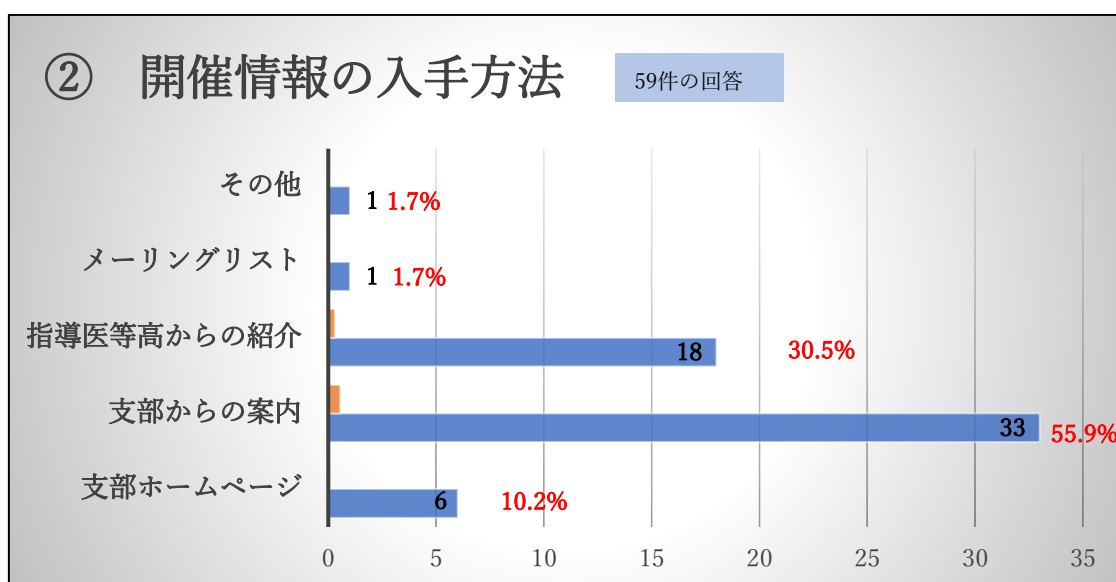
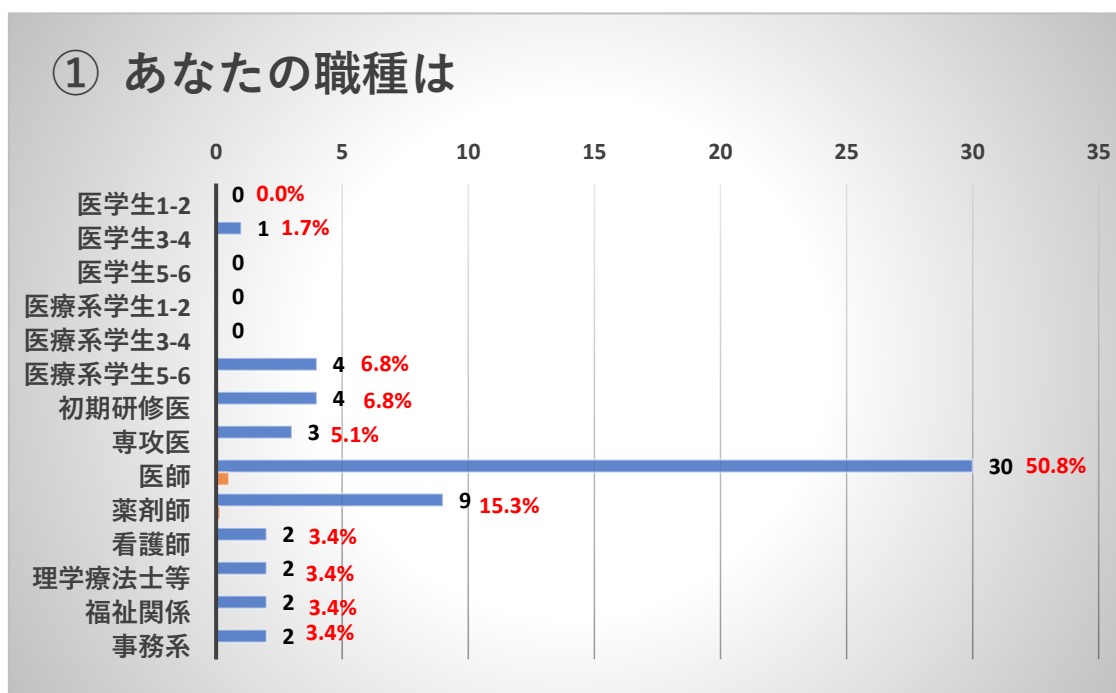
単位：人

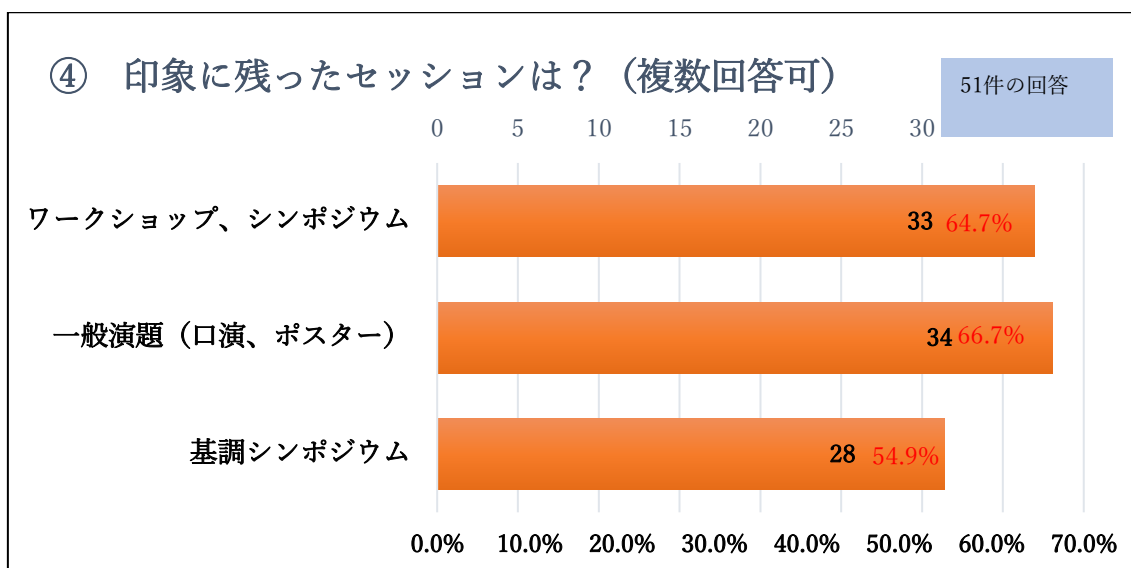
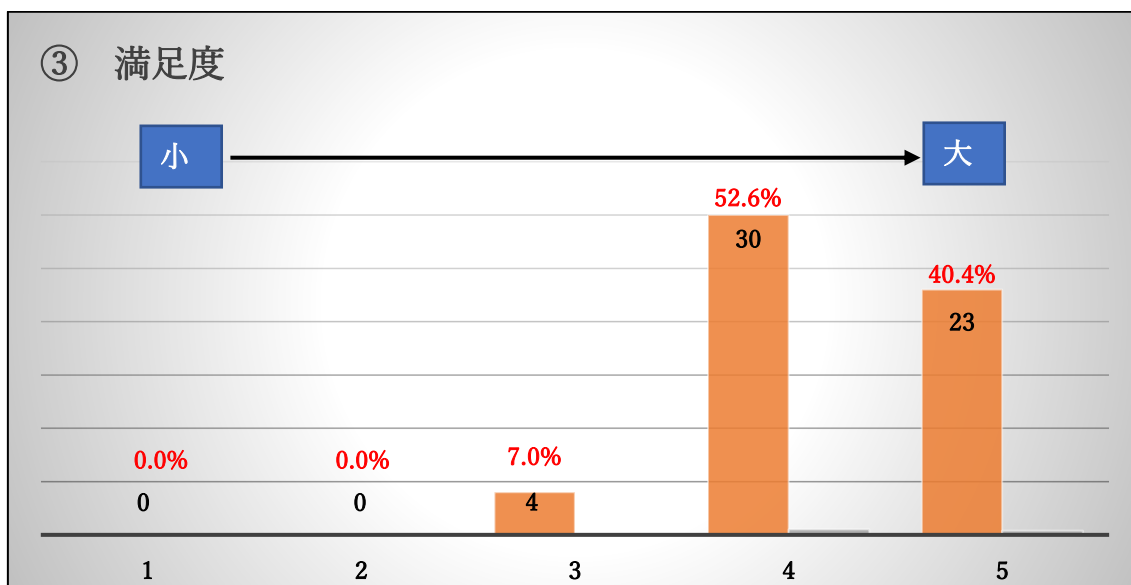
	医師	初期研修医	薬剤師	看護師	OT/PT	学生	大学院	その他	合計
当日	32	3	3	4	2	5	0	1	50
事前	80	2	16	8	10	7	3	8	134
計	112	5	19	12	12	12	3	9	184

※上記人数には、基調講演講師、事務局スタッフ（13名）含まれていません。

※その他は事務系。

2 アンケート調査結果 (アンケート回収数:59件 回収率:32.0%)





④印象に残ったセッションは？(記述回答)

a 基調シンポジウム

- ・ 著名な先生のお話をうかがう機会をつくっていただきありがとうございました。(医師22年)
- ・ 時間配分が・・・(医師15年)
- ・ 大変興味ある内容で面白かったです。もっと時間をとって頂いた方が良かったです。
(お一人でも良かったのではないのでしょうか。)(医師14年)
- ・ 各先生聞き応えのあるお話をありがとうございました。(医師17年)
- ・ プライマリ・ケアと認知症、緩和ケアについて(看護師)
- ・ プライマリ・ケアでも一般的に関わることが多い3つの領域の専門の先生のお話を聞くと言うことで意外と機会の少ないことだったと思います。勉強になりました。(医師10年)
- ・ 矢崎先生と前野先生のマインドのこもった指摘が良かった。明日からも頑張ろうと思った。
(医師11年)
- ・ 在宅医療は様々な形態があること。(初期研修医2年)
- ・ 終末期ではステロイドがよく使われているということ。(医療系学生5年)
- ・ 終末期医療での緩和ケアについて(医療系学生5年)
- ・ 現代の医療が直面している問題というか、考えるべき事柄をそれにふさわしい講師の先生からお聞きすることができました。(医師38年)
- ・ とても参考になった。(医師40年)
- ・ 味わい深いお話、在宅医療の歴史など聞いて良かったです。(医師11年)
- ・ 在宅医療学会という学会を始めて知りました。(医師32年)
- ・ プライマリ・ケアにも色んな形があって、出来ることも沢山あるんだなと感動しました。
(医学生3年)
- ・ 緩和専門ケアについて、前野先生のご講演(病院と差が大きいこと)(医学生3年)
- ・ 認知症を地域でどの様に支えるか、自分たちも考えていく必要がある。(医師18年)
- ・ とても勉強になりました。(町長)
- ・ ディスカッションの時間がほしかったですね。(医師25年)
- ・ 在宅について非常に勉強になりました。(医師16年)
- ・ 社会的認知障害(薬剤師)
- ・ プライマリ・ケアの多角的な見方を再度認識できました。(薬剤師)
- ・ 時間押したが内容良かった。(医師30年)
- ・ 基調シンポジウムの認知症緩和ケアが勉強になった。(医療系学生5年)
- ・ 「緩和ケアについて」の中で実際に行われている医療の紹介が具体的で現場のイメージがし易かった。(初期研修医2年)
- ・ 緩和ケアのお話が印象に残りました。(薬剤師)
- ・ 三人のお話しはそれぞれ良かった。(医師16年)
- ・ テーマが大きすぎて、①ボリュームの割りに時間不足だったような気がする。②PPの字が小さくて見づらいものがありました。(医師35年)

b 一般演題(口演、ポスター発表)について

- ・ 同じcaseを2職種の方が発表したこと。(医師38年)
- ・ ポスター1、研修医生活について考えさせられた。(初期研修医1年)
- ・ 口演2、ポスター7、ポスター9・・・特に島田先生の細かいfollowupと考察は勉強になりました。(医師29年)
- ・ 在宅関連の発表が参考になりました。(医師15年)
- ・ 口演2(初期研修医1年)
- ・ 函館中央病院の在宅復帰事例(病院スタッフのパラダイムシフト、病診連携)(医師10年)
- ・ 応募数にばらつきがあるためかと思いますが、口演とポスターは分けた方が会場設営を考えられるように感じました。ポスターの方に口演にまわってもらうなどで調整できるかと思われます。(医師13年)
- ・ 事例がとても素晴らしく面白かったです。(医師14年)
- ・ ポスター8、ポスター9の発表が率直なプレゼンで考えさせられ、有意義な発表でした。座長の対応も適切でした。(医師17年)
- ・ ポスター4, 5, 6(看護師)
- ・ リハ職の方の発表があったのが良かったです。(医師10年)
- ・ 在宅の発表もあり興味深い内容が多かった。(作業療法士)
- ・ うまくいかなかったかと思う症例を振り返ることはとても学びがありました。(専攻医3年)
- ・ 患者の意志か、家族の意志か一致しないときは困難な状況になる。(医師40年)
- ・ ポスター7(看護師)
- ・ 発表者の方々の取り組みが分かり、興味深かったです。(医師11年)
- ・ ディスカッションが起こるような困難症例を発表しているのがとても良かったと思います。(専攻医1年)
- ・ 具体的な事例を聞くことができ、こんなにがつり患者さんの希望に介入できるのかと驚きました。ステキ!(医学生3年)
- ・ コメディカルとDrの関わり方について、もう少し長く聞きたかった。(医学生3年)
- ・ 研修医教育における病院の在宅医療に対する認識へのアプローチ(薬剤師)
- ・ PC学会らしいポスター発表がありました。(医師25年)
- ・ 在宅をしていた医師による病院からの在宅復帰の報告で病院に新しい風を吹き込むことが出来ると思った。(医師16年)
- ・ 小さい会場に分けてごちんまりしたのは良かったと思います。(医師23年)
- ・ 具体的な調査、診療のデータが理解できました。(薬剤師)
- ・ ポスターの掲示は工夫が必要です。(見えないです。)(言語聴覚士)
- ・ ポスター「帰りたい」、「帰りましょう」、「なんとしても同窓会に行きたい」・・・本人の希望を叶えること、困難さとうまくいった事例。(医師32年)
- ・ 討論良かった。(医師30年)
- ・ 「家に帰りたい」、「帰りましょう」、「なんとしても同窓会に行きたい」(薬剤師)
- ・ 「研修医教育による病院の在宅医療に対する認識へのアプローチ」では、教育の効果が明確に示されていて、興味深かった。(初期研修医2年)
- ・ 困難な症例についての発表聞き、もし自分だったら、自分の職種だったら、どのタイミングでどの様にその患者と関わることができるか、何がその患者のために出来るのかを考えさせられた。(薬剤師)

c ワークショップ、教育講演等について

- ・ EBMワークショップが良かった。(医師38年)
- ・ 日常診療アップデート・配付資料が良かった。(初期研修医1年)
- ・ レクチャーは各担当者がよく考えてくれていましたが、もう少し時間をかけてもいいのでは。(医師29年)
- ・ アップデート：クリアカットでためになりました。(医師23年)
- ・ シンポジウム：最新の情報を教えていただきありがとうございました。(医師22年)
参加者の年齢層が高いのでアップデートに絞った今のスタイルが良いと思います。
- ・ 飲み込みのセッションに参加して、今後は是非、勉強して現場で実践したいと思う。(医師15)
- ・ EBM (初期研修医1年)
- ・ 嚥下、のみこみ、栄養シンポジウム→必要なときに必要な多職種でのチーム作り (医師10年)
- ・ 日常診療アップデートに出ました。こういった場の提供も重要だと思いました。(医師10年)
- ・ WS：企画に関わることが出来、学びを深める経験になった。シンポ：議論の時間が短かった。(専攻医1年)
- ・ EBMの勉強をしようと思った。(初期研修医2年)
- ・ EBM：運営の先生方が熱心に対応してくださいました。(作業療法士)
- ・ シンポジウムが聞きたかった。(講義だけだったので)少し残念でした。(作業療法士)
- ・ 高齢者の口腔内の状況 (医学生5年)
- ・ 在宅よもやま話に参加しました。Dr、Nsではなのですが大変参考になりました。(介護等)
- ・ 嚥下：とても参考になった。多職種でのチーム作りが大切だと実感した。(医師40年)
- ・ アップデートで新ガイドラインの骨を知ることはありがたいです。(医師11年)
- ・ おおまかな対象職種やセッティングが事前に分かると選びやすい。(医師7年)
- ・ ポリファーマシー (医師32年)
- ・ ポリファーマシーのところに行きましたが、薬剤師さん、薬学生さんへのリスペクトが強まりました。(医学生3年)
- ・ ポリファーマシーについて、WS形式は学生ながら楽しく参加出来た。(医学生3年)
- ・ 嚥下にも呼吸が重要ということ。(薬剤師)
- ・ 他市町、医療機関と行政の関係に興味 (町長)
- ・ PC学会らしいWSでした。(医師25年)
- ・ 急性期病院から在宅医療への橋渡しのヒントが得られた。(医師16年)
- ・ 日常診療アップデート：簡潔にまとまっていて分かりやすかったです。(医師23年)
- ・ ポリファーマシー (薬剤師)
- ・ 基本的な診療が学べました。(薬剤師)
- ・ ポリファーマシー：現場の薬剤師と関わることで勉強になった。(医療系学生5年)
- ・ 基本押さえている。(医師30年)
- ・ 「論文を読まずにEBMを実践しよう」では、具体的なケースを使って治療方針を組み立てる勉強が出来て、楽しかった。(初期研修医2年)
- ・ 普段聞けないお話が聞け大変参考になった。(薬剤師)

⑤ 今後の開催テーマや企画にご要望など

- ・ ポスターセッションの机が邪魔になっていた。(部屋の関係もありますが。)(医師29年)
- ・ 様々な世代でシンポジウムを!(医師23年)
- ・ 準備ただいただいた皆様、お疲れさでした。(医師13年)
- ・ 実行委員の皆様ありがとうございます。(医師14年)
- ・ WSを全て同じ時間に行うと一つ参加出来ない。せめて学会HPなどで参加出来なかったWSの内容を共有してほしい。(専攻医1年)
- ・ 在宅で働いている人たちにはとても参考になるもり沢山の研修でした。(作業療法士)
- ・ 各ワークショップやシンポジウムがどの職種向けなのか示してほしい。(医療系学生5年)
- ・ 勉強になりました。ありがとうございました。(医療系学生5年)
- ・ 学生の受け皿が小さめだと感じた。(医学生3年)
- ・ ポスターセッションに力を入れすぎて、一般口演が少ないと思った。(医師16年)
- ・ 事務局の方、運営委員の方、ありがとうございました。(医師23年)
- ・ 基調シンポジウム会場のエアコンが寒かった。(薬剤師)

⑥ その他、今回の地方会(定時総会)の感想、ご要望、ご意見

- ・ 病院総合医向けのテーマ、企画もお願いします。(医師29年)
- ・ リハビリテーションの導入に関するテーマ(特に在宅)(作業療法士)
- ・ 予防接種、検診、大人の発達障害(専攻医3年)
- ・ 基調講演は日本の医療施策について聴きたいです。(医師11年)
- ・ 全体として時間が短く深まりは少ない。(医学生3年)
- ・ 病院からはじめる訪問診療(医師16年)
- ・ 研究会開催の際に某アイドルグループのコンサート等と日程が重ならないようにご配慮いただければありがたいです。(ホテルをとるのが大変です。)(医師32年)

<報告②北海道プライマリケアフォーラム・学術集会>

2018年11月17日開催されました。次回のニュースレターで詳細を報告します。

<http://jpca-hokkaido.jp/forum2018>

<報告③プライマリケアキャンプ in るもい>

2018年9月21～23日で開催されました。2～4年生までの11人が道内から参加してくれました。実施要綱を添付します。

2018 北海道地域医療オータムキャンプ in るもい実施要綱

- 目的 「プライマリ・ケア（身近にあって、なんでも相談にのってくれる総合的な医療）」に関心を持つ道内3医育大学1年生から4年生を対象とし、地域医療の現状を見る、知る、体験すること
- 主催 日本プライマリ・ケア連合学会北海道ブロック支部
- 主管 オータムキャンプ in るもい実行委員会（留萌市立病院）
- 日程 平成30年9月21日(金)～平成30年9月23日(日)
- 会場 留萌市立病院ほか留萌市内関係機関、増毛町
- 参加資格 道内3医育大学1年生～4年生
なお、定員に達しないときは、5・6年生も対象とする。
- 申込方法 メール申込とする(住所・氏名・生年月日・大学名・学年・電話番号)
- 募集定員 12名
- 参加料 5,000円
- 宿泊 留萌市立病院 旧学習センター（留萌市立病院付帯施設）
- スケジュール

【第1日目 (9/21)】

時間	A・B共通
15:30～16:00	集合・受付〔場所：留萌市立病院 地域医療教育研究センター会議室〕 宿泊施設チェックイン〔場所：留萌市立病院 旧学習センター〕
16:15～17:00	オリエンテーション〔会場：地域医療教育研究センター会議室〕 ・支部長あいさつ ・院長あいさつ ・レクチャー、日程説明等 ・自己紹介
17:00～17:30	院内見学
17:40	移動（宿泊施設前出発～歓迎レセプション会場）
18:00～19:30	歓迎レセプション〔会場：寿司居酒屋 蛇の目〕
19:40	移動（蛇の目出発～留萌市立病院）
20:00～21:00	講演①〔会場：地域医療教育研究センター会議室〕 「秘話! 地域医療の魅力」 留萌市立病院 村松 博士 院長
21:00	自由時間・就寝

【第2日目 (9/22)】

時 間	Aグループ	Bグループ
08:15～08:40	朝食〔会場：留萌市立病院 講堂〕	
08:45	移動（宿泊施設前出発～各施設）	
09:00	フィールドワーク①	
	(株)らいおんハート留萌 障害福祉サービス事業部 ・施設見学、利用者とのコミュニケーションなど	(株)ファミリーケアサポート ・デイサービスにおける施設見学、介 助体験、利用者とのコミュニケーションなど
10:05	移動	
10:20	移動（徒歩）	
時 間	Aグループ	Bグループ
10:30～12:00	フィールドワーク②	
	特別養護老人ホーム萌寿園 ・入所者とのコミュニケーション、ド ラム（太鼓）サークルに参加など	サービス付き高齢者向け住宅ひかり ・入所者とのコミュニケーション、健 康管理、体操に参加など
12:05	移動（各施設出発～るもい健康の駅）	
12:15	昼食〔会場：るもい健康の駅〕	
12:30～12:50	るもい健康の駅を紹介（コホートピア構想）	
12:55	移動	
13:00～14:30	フィールドワーク③	
	るもい健康の駅 ・健康講話、自分の健康チェックなど	留萌消防署 ・地域救急体験など
14:35	移動（各施設出発～留萌市立病院）	
15:00～16:00	フィールドワークまとめ〔会場：地域医療教育研究センター会議室〕	
16:00～16:40	発表・寸評〔会場：地域医療教育研究センター会議室〕	
16:40～17:40	講演②〔会場：地域医療教育研究センター会議室〕 「北海道の地域で働く医者を目指して（仮）」 諏訪中央病院 久保 成彦 先生（元留萌市立病院初期研修医）	
講演終了後	移動（留萌市立病院出発～海のふるさと館）	
18:00～19:30	夕食「るもい浜焼き」〔会場：海のふるさと館・テラス〕	
19:50	移動（海のふるさと館出発～ホテル神居岩）	
20:10～21:10	入浴〔場所：ホテル神居岩〕	
21:15	移動（ホテル神居岩出発～留萌市立病院）	
21:20	自由時間・就寝	

【第3日目 (9/23)】

時間	A ・ B 共通
08:15～08:40	朝食 [会場：留萌市立病院 講堂]
08:40～08:55	出発準備・チェックアウト
09:00	移動 (宿泊施設前出発～増毛町)
09:30～10:15	施設見学・駅前散策 [場所：国稀酒造、旧増毛駅] 日本最北の造り酒屋など
10:20	移動 (旧増毛駅前出発～パパヤの里)
10:30～12:00	体験学習 [場所：パパヤの里 富野果樹園] 果物狩り (りんご・プルーン) ※雨天時ジャム作り
12:05	移動 (パパヤの里出発～留萌千望台)
12:30～13:00	昼食 [会場：千望台レストハウス]
13:05	移動 (千望台出発～留萌駅前)
13:20～13:40	お土産処 [場所：お勝手屋萌]
13:45	解散 (旭川行き駅前バス停・札幌行き留萌ターミナル・JR留萌駅) ※旭川行き沿岸バス 13:56 - 旭川駅前 16:00 札幌行き中央バス 14:00 - 札幌駅前 16:39 深川行きJR 13:30 - 14:29 深川 14:49 - 札幌 15:55 15:06 - 旭川 15:25

【講義】

第1日目 (9/21)	20:00～21:00	「秘話！地域医療の魅力」	留萌市立病院 村松 博士院長	地域医療教育 研究センター
第2日目 (9/22)	16:40～17:40	「北海道の地域で働く医者 を目指して (仮)」	諏訪中央病院 久保 成彦先生	地域医療教育 研究センター

【フィールドワーク】

第2日目 (9/22)	A グループ	09:00～10:00	施設見学、利用者とのコミュニケーションなど	障がい者福祉施設 (株)らいおんハート留萌
		10:30～12:00	入所者とのコミュニケーション、ドラム (太鼓) サークルに参加など	特別養護老人ホーム 萌寿園
		13:00～14:30	健康講話・自分の健康チェックなど	るもい健康の駅
	B グループ	09:00～10:20	デイサービスにおける施設見学、介助体験、利用者とのコミュニケーションなど	デイサービス (株)ファミリーケアサポート
		10:30～12:00	入所者とのコミュニケーション、健康管理、体操に参加など	サービス付き高齢者向け住宅 ひかり
		13:00～14:30	地域救急体験など	留萌消防署
	共通	15:00～16:00	まとめ	地域医療教育研究センター
		16:00～16:40	発表・講評	地域医療教育研究センター

【見学・体験学習】

第3日目 (9/23)	09:30～10:15	日本最北の造り酒屋 駅前散策	国稀酒造 旧増毛駅	
	10:30～12:00	果物狩り ※雨天 ジャム作り	パパヤの里 富野果樹園	りんご プルーン

【食 事】

第1日目 (9/21)	18:00～19:30	歓迎レセプション	寿司居酒屋 蛇の目
第2日目 (9/22)	08:15～08:40	朝食	留萌市立病院 講堂
	12:15～12:50	昼食	るもい健康の駅
	18:00～19:30	夕食「るもい浜焼き」	海のふるさと館
第3日目 (9/23)	08:15～08:40	朝食	留萌市立病院 講堂
	12:30～13:00	昼食	千望台レストハウス

<報告④北海道庁総合診療医人材確保・養成事業（道内医育大学における総合診療医啓発活動）>

北海道大学 第1回 2018年6月8日→14名参加

（予定）第2回 2019年1月18日

旭川医科大学 第1回 10月17日→14名参加

（予定）第2回 2019年2月ごろ

札幌医科大学 第1回 12月1日→8名参加

<告知①第7回北海道地方会・定期総会兼学術集会>

2019年6月29日の開催に向けて実行委員長俱知安厚生病院木佐先生を中心に準備中です！ぜひ多くの方に参加いただきますよう、よろしくお願いいたします！

<告知②ミニ地方会 in 名寄>

2019年2月2日 14:30より名寄市立総合病院 新館3階体育館にて開催されます。

多数の皆様の参加をお待ちしております。

<http://jpca-hokkaido.jp/wp-content/uploads/246d3622955a2f23c4b13faafe5bea8e.pdf>

<その他の平成30年度の支部関連行事予定>

・北海道ブロック支部第3回幹事会 2019年2月16日

<ご質問・ご要望をお寄せください！>

北海道ブロック支部では支部長・副支部長が毎月一回ビデオ会議で行なっています

副支部長の担当業務は以下の通りです。ご意見・ご質問があればお気軽にお寄せください。

山田副支部長：サイトビジット・ポートフォリオ検討会、専攻医関連

臺野副支部長：学生関連、支部広報・ウェブサイト関連

木佐副支部長：ミニ地方会、キャンプ、学術、第7回地方会

小嶋副支部長：フォーラム、ニュースレター

日本プライマリ・ケア連合学会北海道ブロック支部事務局

〒072-0031 北海道美唄市西2条北1丁目1-1

市立美唄病院内 代表電話 0126-63-4171

北海道ブロック支部事務局アドレス hpca.jimukyoku@gmail.com

担当：高倉・今澤